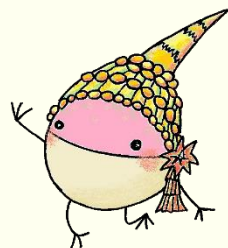
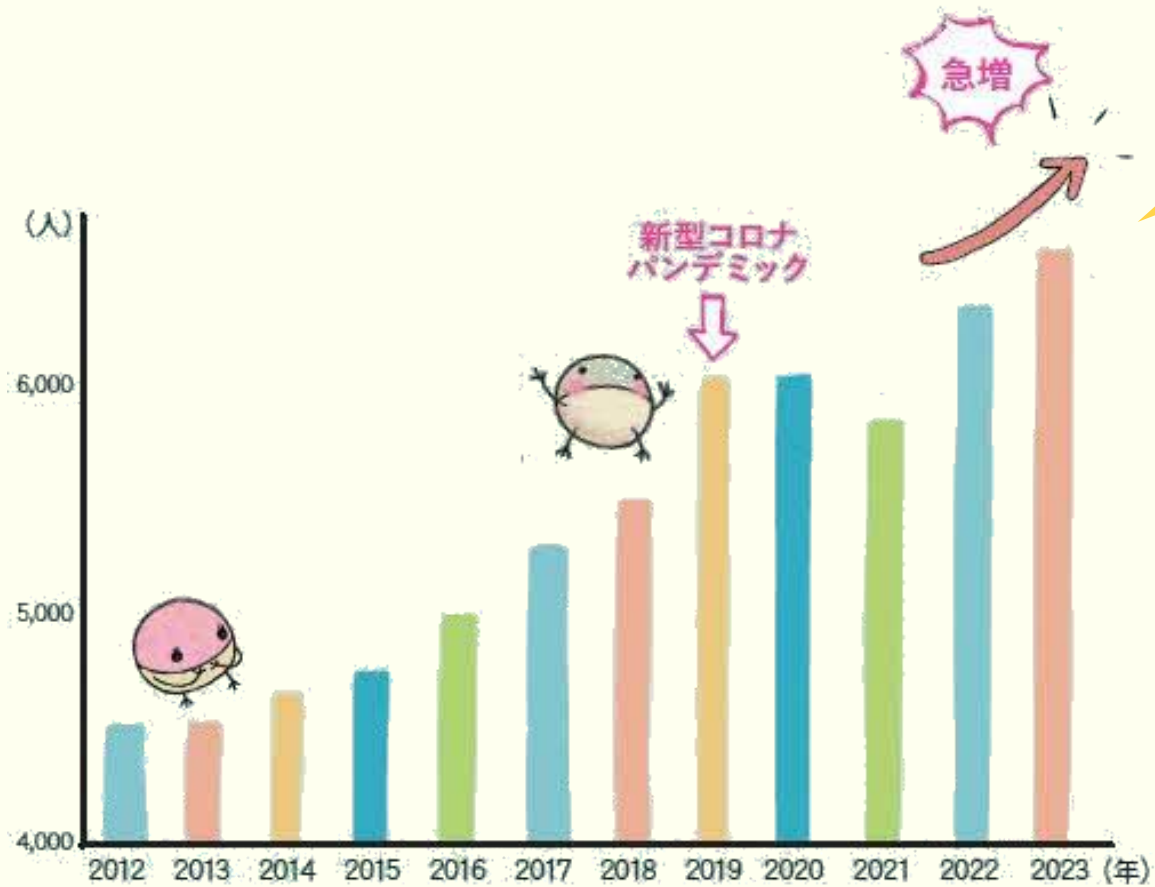


地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 取組報告



2024年 10月 23日
豊中市市民協働部 人権政策課
公益財団法人とよなか国際協会

豊中市の外国人人口



7,400人

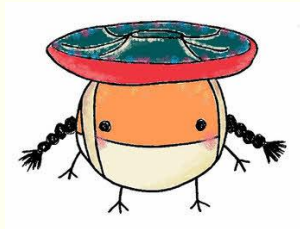
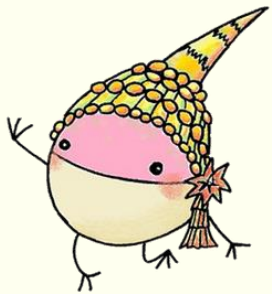
1	中国	2155
2	韓国	1806
3	ベトナム	1068
4	フィリピン	320
5	インドネシア	296
6	ネパール	290
7	米国	160
8	台湾	155
9	ミャンマー	150
10	インド	99

※2024年8月末

(公財)とよなか国際交流協会

1993年、設立

とよなか国際交流センターの指定管理者



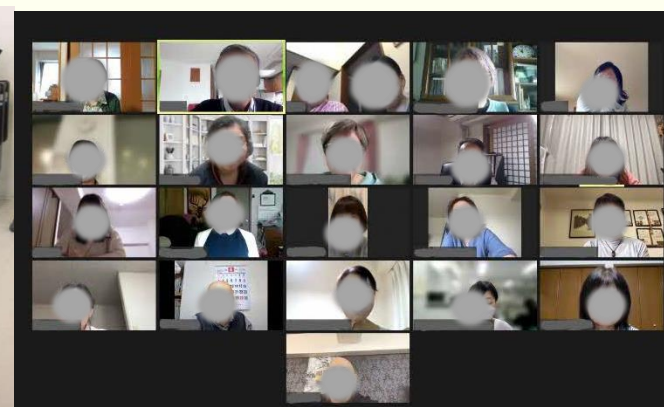
ボランティア
約350人！

外国人市民の**自立**や**社会参加**に向けて
乳幼児から**高齢者**まで世代を
分断することのない**総合的な外国人支援**を
地域や**学校**とつながりながら行っています

キーワード：市民参加、人権、地域

日本語交流活動

- ★ もっともっとなつかえるにほんご 月 10:00~11:45
- ★ 千里にほんご 木 10:00~11:30 ※ 於 千里コラボ
- ★ とよなかにほんご・木ひる 木 13:30~15:00
- ★ つながれとよなかオンライン! 木 19:00~20:00 ※ Zoom
- ★ とよなかにほんご・金あさ 金 10:30~12:00
- ★ にちようがちゃがちゃだん 日 10:00~11:45
- ★ 庄内にほんご 日 13:00~15:00 ※ 於 庄内公民館



大人向け日本語教室
「大人メイト」スタート
1994年

'98 日本語ニーズ調査

1998年 学習者へのアンケート
Q. どこで日本語を使いますか？
A. ここ(センター)です

ボランティアを募り、
市民との交流型に
転換

「とよなかにほんご」スタート
木ひる、木よる、金あさ
1999年

「にちようがちゃがちゃだん」
2006年

働く人たちからの相談
'06 文化庁委託事業
「かいしゃとちいきで
つくるにほんご」

'08 リーマンショック
就労に関する相談の増加

「もっともっと使えるにほんご」
2011年

市北東部へのアプローチ

千里にほんご
2017年

市南部へのアプローチ
& オンラインでのアプローチ

つながれとよなかオンライン！
庄内にほんご
2020年

「交流型」の活動が目指していること

日本語を教える—教えられる という固定的な関係ではなく
活動を通じてお互いに知り合う、触れ合う、学び合う
地域に住む人同士として、対等な立場で出会う

日本語できない ≠ 何もできない

日本語を学ぶことなどを通じて、自信や力を取り戻していく

ボトムアップの組織づくりの視点

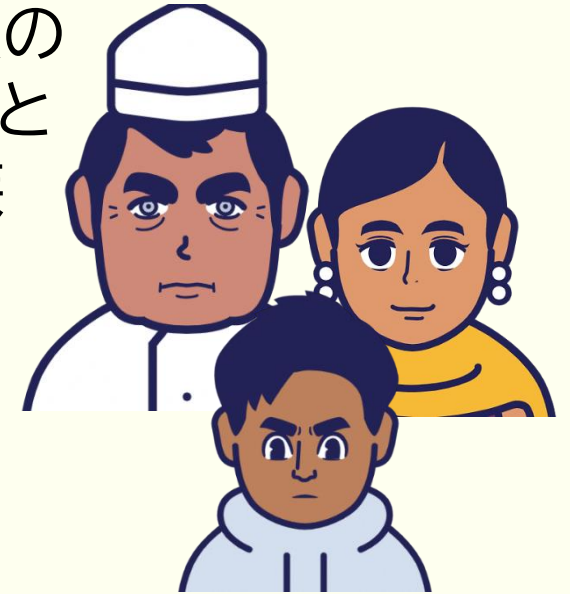
日本語交流活動に参加している人たちって、どんな人？

国際結婚の
子育て中のママたち

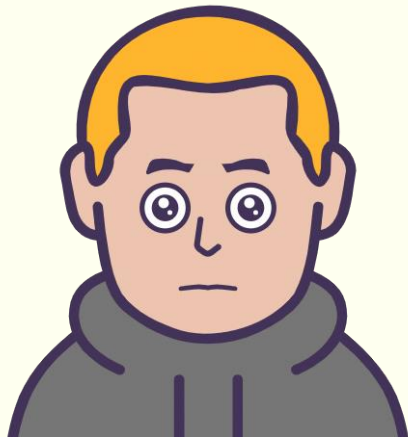


技能実習生

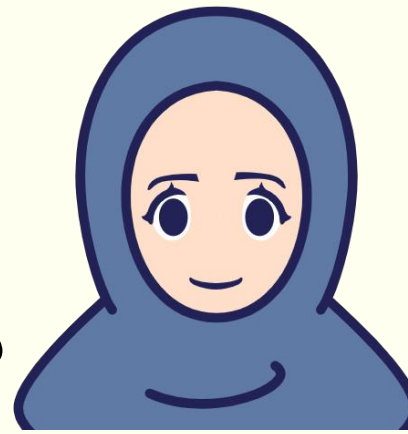
ネパール人の
コックさんと
その家族



留学生



ムスリムの方も



日本語だけでなく
いろいろな事業との
かかわりがある

①安心して居られる場所(強制、矯正ではなく共生)
→ 多様な人の存在を感じる場所。

②地域の元気に
→ 多様なことを楽しむ、共に元気になる。

③聴く
→ まずは聴くことから。それから話したり、相談したり
伝えたり、動いたり…。

